

道連ニュース

2023年1月号 No.193

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目-3

こくみん共済coop北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

新年あいさつ

会長理事 麻田 信二



新年、あけましておめでとうございます。迎えました2023（令和5）年が、ロシアによるウクライナ侵攻が一日にも早く収まり、生協活動に集う皆様にとって良き1年になりますようお願い申し上げます。

昨年を振り返って見ますと、世界では何と言っても、ロシアプーチン大統領の戦争犯罪とも言えるウクライナ侵攻です。国連の安全保障理事会の常任理事国でありながら、強大な軍事力を持って他国を一方向的に攻撃し、病院や学校までも標的にするばかりか、ウクライナ軍の反転攻勢を受けて、電力供給などのインフラ施設へのミサイル攻撃が繰り返され、市民生活に不可欠な電力不足に陥り、厳しい生活を余儀なくされています。侵攻の影響は世界に及び、エネルギー・食糧価格が高騰し、多くの人々の生活を苦しいものにしていきます。国際社会は、プーチン大統領の人類文明への犯罪とも言える暴挙を止めることが出来ずにいます。

東西冷戦が終わり、人種や思想などによる様々な対立がなくなり軍縮も進み、人類社会は、科学技術の一層の進展の下、平和的に繁栄していくものと期待していましたが、温暖化など地球環境問題が深刻化する中、ロシアのウクライナ侵攻、中国の急速な軍事経済大国化と覇権主義的な動き、北朝鮮やイランの核兵器開発の動向など、時代は混迷状態になっています。

国内的には、新型コロナウイルスの感染拡大が繰り返されてきましたが、参議院議員選挙応援演説中の安倍元首相は母親が旧統一教会会員の元自衛隊員の男に銃撃され死亡しました。このことにより、旧統一教会・国際勝共連合と自民党安倍派との関係が明らかになるとともに、旧統一教会被害者救済問題などが浮上しました。

また、安倍氏の死去が影響したのかはわかりませんが自民党が大勝し平和憲法の改正が現実味を増したほか、安倍氏が組織委員会の理事に押し込んだ元電通マンが贈収賄事件で逮捕されるなど平和の祭典・東日本

大震災復興の象徴だったはずの東京オリンピック・パラリンピックはレガシーを残すどころか全くお粗末な汚職の大会になってしまい、政治の暗部がさらけ出されました。

道生協連は、1956年12月に設立され今日に至りましたが、設立当初中心となった炭鉱職域生協が閉山と共に清算され、高度経済成長期に消費者運動と結びつき生協運動を発展させてきた全道各地に誕生した市民生協は、「コープさっぽろ」に統合され、地域購買生協は、「コープさっぽろ」と「生活クラブ生協」の2生協となり、生協法の改正などもあって、道生協連の役割は大きく変化してきました。

一方、コンピューター技術や遺伝子組み換え技術などが急速に進歩する中、真偽の不明確な情報が溢れ、囲碁・将棋のプロ棋士がAI（人工知能）に勝てなくなり、AIが画像から病気診断を行うなど、人類は様々な場面において、自らが作り出したものの従属的な立場に立たされつつあり、人類文明はこれからどうなっていくのか、私たちの想像力が試される時代になってきました。

時代は様変わりしてきましたが、2016年には、協同組合の理念がユネスコ無形文化遺産に登録され、国連は2030年を目標に、生協運動と共通する内容を持つSDGs（持続可能な開発目標）を定めるなど、生協運動の重要性は益々高まっています。

これからも、約200万組合員を擁する「コープさっぽろ」に支えられながら、2020年に設立された「協同組合ネット北海道」の会員など、生協運動の理念や相互扶助の精神に理解をいただいている皆様方のご協力を得ながら、平和で安心して暮らせる北海道の実現に向け貢献したいと考えている所です。

会員皆様方のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



広がる子ども食堂の輪！引き続き支援！ 連携を宜しくお願い致します！



12月3日に大麻でスタートした
おんくりの家子ども食堂

全国的な「子ども食堂」の増勢について12月中旬にむすびえから全国7300箇所！と云う実態・趨勢が報道されておりました！前回調査2021年10月時点で約6000でしたので

コロナ禍の下で約1300もの新しい子ども食堂が誕生した事になります。道内でも約250ヶ所の子ども食堂が存在しており前年同時期よりも30ヶ所近くの増になっております。中でも札幌市内での増加が顕著で市内には現在90ヶ所を超える子ども食堂・地域食堂が活動を展開されておられます。今後とも増勢し続けていく子ども食堂に変わらないご支援を改めてお願いしたいと存じます。



百合が原公園内で始まった子ども食堂

多様に広がる“支援、の輪！”

協同組合ネット北海道様に参画する各協同組合様にはこの1年、様々にご支援やご尽力を賜りました！本当に感謝申し上げます。JA5連様からは昨年度に引き続き寄付をはじめ、こども食堂北海道ネットワークの様々な

侍ジャパン
子ども食堂の子ども達
栗山監督と西岡



活動に連携、協働を頂きました。一例ですがお米券、牛乳券と云う形で運営者さんにお届をさせて頂きました。本当に有難うございました。また札幌市民の方ですがこの度500万円と云う高額なご寄付も頂戴致しました。ネットワークでは故人のご意思に則して市内80ヶ所の子ども食堂さんに分配をさせて頂きました。事業者様からの応援も本年は「プロ野球観戦」「自社製品の送付」「共同イベントの開催」と多様な広がりを見せましたが、農業現場への思いを馳せた「現物」配布で支援活動に参画される事例も広がりました。その際に大変嬉しい事ですがこの間様々に連携している「単位農協」様からの協力等々がその実現の大きなポイントになっている事もございました。地域社会、事業者、運営者がもっと繋がりが深められる様、ネットワークの役割は益々高まって行くものと考えております。引き続き北海道生協連様に結集される会員生協様のご支援を宜しくお願い申し上げます。



市社協様と寄付者様

お知らせ！協同組合ネット北海道拡大事務局会議報告 Vol.19

日時：令和4年12月7日
場所：JA北農ビル19階 第5会議室

1. 協議事項

- (1)令和5年度協同組合ネット北海道の事業計画(予算)について
 - ▶構成各組織の5年度予算計上に向け、負担金の発生する事業等についての概算提示。
 - ▶令和2年以降事業計画に先進事例視察を盛り込んだもののコロナ禍により未実施の経過、事業計画の具体化の議論は次回以降別途協議することで確認された。
- (2)令和5年度 総会・幹事会・事務局会議の開催方法等について
 - ▶「総会・幹事会の開催時期・方法について」は、これまでの経過をふまえ幹事会は4月と10月、総会は7月計画で調整。
 - ▶『事務局会議』について、一層の相互の理解・交流

を目的に令和5年度からは、毎月拡大事務局会議〔構成16団体〕での開催を計画。月例第2金曜日午後3時、構成組織持ち回り開催で今後調整する事とした

2. 独自事業関係

- (1)ポスター・エコファイルの作成について
- (2)広報・情報発信事業について
- (3)金融部門連絡会議について
- (4)公開講演会について

3. 連携事業関係

- (1)こども食堂支援(学生プロジェクト活動)について

4. 各組織提案協議・情報提供関係

- (1)生活協同組合コープさっぽろ
 - ▶JCA全国交流集会参加報告
 - ▶北海学園大学 協同組合講座提供の事例報告
- (2)ワーカーズコープ連合センター事業団
 - ▶北海道労協法周知フォーラム(厚労省事業)報告